

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	高岡市 162027
地域名 (地域内農業集落名)	立野地区 (立野,渡,東石堤,出来野,高田島,荒又,笹川,高田新,下開発)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	154.51 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	138.8 ha
② 田の面積	152.98 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.52 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・公園周辺の道路が、大会等イベント開催中の利用者が多いため、利用しにくい。また、周囲が市街地に囲まれた形の農地があり、引き受ける担い手の確保が課題となる。
 ・ラジコンヘリによる防除作業を実施しているが、住宅地に隣接する農地においては、事前に訪問説明を行うなど配慮を行っているが、効率的に実施できないケースもある。
 ・離農する経営体の農地について、一定の規模以上の区画は中心経営体で引き受ける形をとるが、小区画の農地は維持管理が課題となる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・地域の中心となる経営体(法人・認定農業者)への農地の集積を行い規模拡大を目指しコストの低減を図る。
 ・中心となる主穀作(水稻)のほか、大豆・ニンジン等高収益作物の複合化に取り組み、所得向上を図る。
 ・人口減少下において農業従事者数が減少する中においても営農を継続し、生産性の高い農業が持続できるよう、用水の整備や畔倒し等の補正に努めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付を進めつつ、中心経営体への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	53.8	%	将来の目標とする集積率
			53.8 %

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

各地区において中心経営体が中心となって担う。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

・新しい担い手の確保と狭隘な区画の整備による団地化を進めながら、受け手と農地を結び付け、集積・集約に繋がるよう取り組みを進めていく必要がある。

(2)農地中間管理機構の活用方法

・農地バンクへの貸付を進めつつ、中心経営体への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。
・将来の経営農地の集約化を目指し、可能なものから、農地を機構に貸し付けていく。

(3)基盤整備事業への取組

・中心経営体のニーズを踏まえ、農用地の大区画化・汎用化等のための基盤整備に取り組んでいく。
・農業の生産効率の向上を図り、中心経営体への集約・集積を進めるため、狭隘かつ不整形な農地については、耕作しやすいよう、地権者の同意を得ながら畔倒し等の補正・団地化を進める。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

・後継者が未定な農地もあり、地域内外から担い手を確保・育成していく必要がある。市町村やJAと連携し、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

・負担軽減及び作業の効率化のため、検討していく必要がある。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

・中心となる主穀作(水稲)のほか、ニンジン等の比較的人手をかけずに取り組みやすい高収益作物の取り組みを検討していく。また、ダイコン・ハクサイ等を組み込んで複合化していきたい。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(A)	主穀作(水稲・大麦)、大豆・園芸作物	32.10 ha	ha	主穀作(水稲・大麦)、大豆・園芸作物	32.10 ha	ha	A	
認農	(B)	水稲	15.53 ha	ha	水稲	15.53 ha	ha	B	
認農	(C)	主穀作(水稲・大麦・大豆)、園芸作物	11.70 ha	ha	主穀作(水稲・大麦・大豆)、園芸作物	11.70 ha	ha	C	地区外
認農	(D)	水稲・野菜	8.95 ha	ha	水稲・野菜	8.95 ha	ha	D	地区外
利用者	(E)	主穀作(水稲)・園芸作物	3.22 ha	ha	主穀作(水稲)・園芸作物	3.22 ha	ha	E	
認農	(F)	水稲、大豆、ハトムギ	5.43 ha	ha	水稲、大豆、ハトムギ	5.43 ha	ha	F	地区外
認農	(G)	主穀作(水稲・大麦・大豆)	0.80 ha	ha	主穀作(水稲・大麦・大豆)	0.80 ha	ha	その他	地区外
認農	(H)	水稲、大麦、園芸	0.17 ha	ha	水稲、大麦、園芸	0.17 ha	ha	その他	地区外
利用者	(I)	主穀作(水稲)・園芸作物	ha	ha	主穀作(水稲)・園芸作物	ha	ha		
利用者	(J)	水稲	ha	ha	水稲	ha	ha		
認就	(K)		ha	ha		ha	ha		
認農	(L)	主穀作(水稲)・園芸作物・花卉	ha	ha	主穀作(水稲)・園芸作物・花卉	ha	ha		地区外
計	12経営体		77.90 ha	ha		77.90 ha	ha		

